



独立行政法人国立美術館

国立西洋美術館概要

Independent Administrative Institution
National Museum of Art

THE
NATIONAL
MUSEUM
OF
WESTERN
ART, TOKYO
2023

令和5年

概要

国立西洋美術館はフランス政府から寄贈返還された松方コレクション(印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション)を基礎に、西洋美術に関する作品を広く公衆の観覧に供する機関として、1959(昭和34)年4月に発足しました。以来、広く西洋美術全般を対象とする唯一の国立美術館として、展覧会事業を中心に、西洋美術に関する作品及び資料の収集、調査研究、保存修復、教育普及、出版物の刊行等の事業を展開しています。また、2001(平成13)年4月からは国立美術館各館を統合して独立行政法人国立美術館が発足し、国立西洋美術館は独立行政法人国立美術館が設置する美術館の一つとなりました。

本館はル・コルビュジエの設計によるものであり、2016(平成28)年7月に国立西洋美術館を構成資産に含む「ル・コルビュジエの建築作品―近代建築運動への顕著な貢献―」が、世界遺産一覧表へ記載(登録)されました。

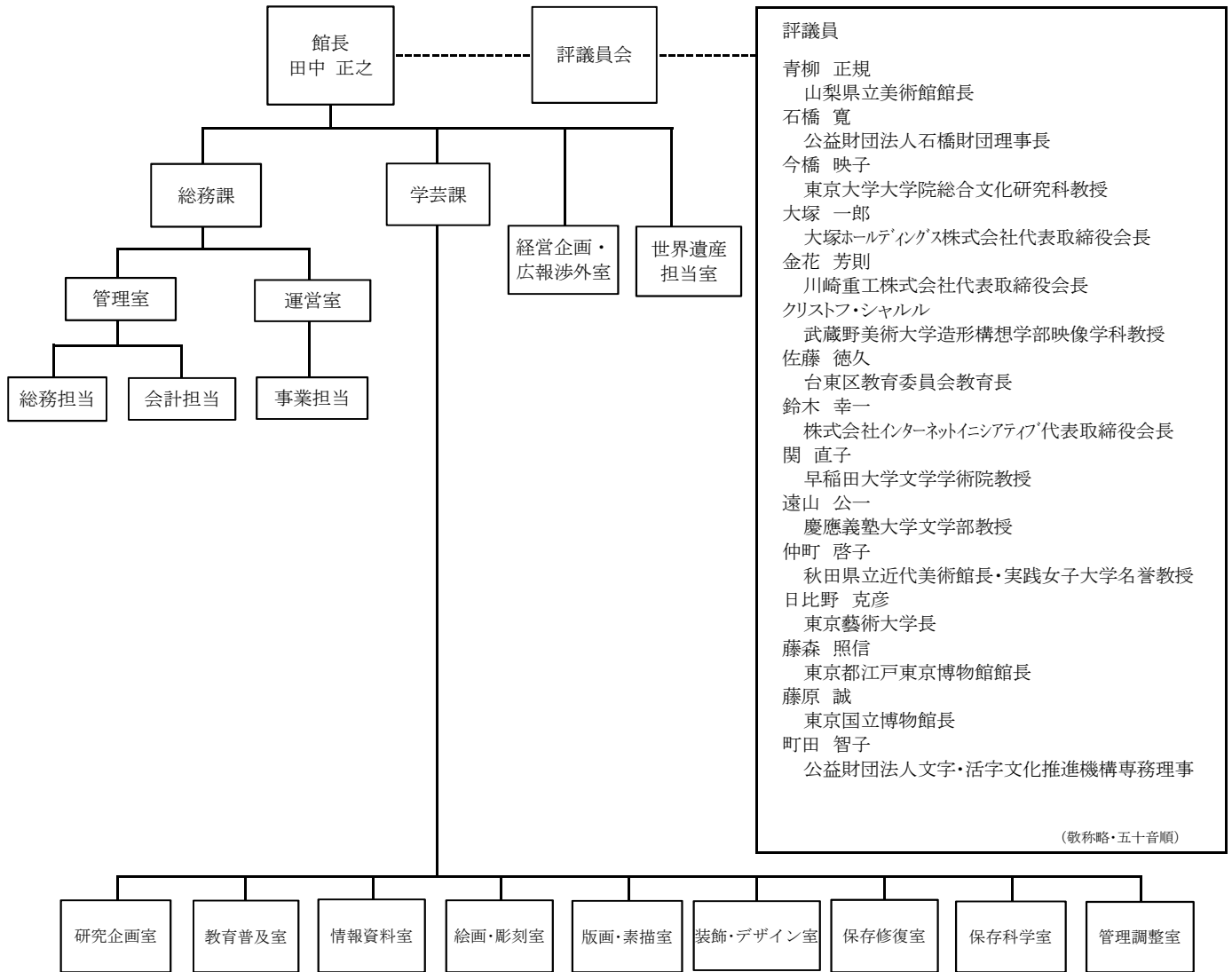
沿革

1951(昭和26)年	4月	株式会社川崎造船所の社長であった故松方幸次郎が大正5年から十数年に渡りヨーロッパ各地で集めた絵画、彫刻等いわゆる松方コレクションは、サンフランシスコ平和条約により、連合国の管理下にある日本国民の財産として、フランス政府の所有に帰した。
1953(昭和28)年	6月	フランス大使から外務大臣あてに覚書が提出され、日本側が東京にフランス美術館を創設することが、松方コレクション返還の不可欠の条件である旨の要望があった。
	12月	「松方コレクション受入れについて」の閣議了解をうけ、文部省に「フランス美術館」(仮称)設置準備協議会が置かれた。
1959(昭和34)年	1月	フランス政府―日本政府間の松方コレクション寄贈返還の正式調印がなされた。
	3月	国立西洋美術館建物が竣工した。
	4月	文部省設置法の一部改正により国立西洋美術館が設置された。
	6月	開館式、一般公開を行った。
1964(昭和39)年	7月	講堂、事務庁舎が竣工した。
1968(昭和43)年	6月	文部省設置法の一部改正(文化庁の設置)により、国立西洋美術館は文化庁附属機関となった。
1979(昭和54)年	5月	新館が竣工した。
1984(昭和59)年	7月	文部省設置法の一部改正により、国立西洋美術館は、文化庁の施設等機関となった。
1997(平成9)年	12月	企画展示館が竣工した。
1998(平成10)年	3月	本館耐震改修(免震化)等工事が竣工した。
	4月	全館がリニューアル・オープンした。
2000(平成12)年	3月	新館第三展示室(版画素描室)改修工事が竣工した。
2001(平成13)年	4月	独立行政法人国立美術館法に基づき独立行政法人国立美術館が発足し、国立西洋美術館は独立行政法人国立美術館が設置する美術館となった。
2002(平成14)年	3月	研究資料センターを開設した。
2007(平成19)年	9月	本館が国の世界遺産暫定一覧表に記載された。
	12月	本館が国の重要文化財に指定された。
2008(平成20)年	2月	本館を含む「ル・コルビュジエの建築と都市計画」(6カ国共同推薦)の世界遺産推薦書がユネスコ世界遺産センターに提出された。
2009(平成21)年	2月	新館空調和設備その他工事(建築・電気設備・機械設備)が竣工した。
	6月	新館がリニューアル・オープンした。開館50周年記念式典を挙行了した。
	6月	第33回世界遺産委員会において「情報照会」の決議が採択された。
	7月	園地が国の登録記念物に登録された。
2011(平成23)年	6月	第35回世界遺産委員会において「記載延期」の決議が採択された。
2016(平成28)年	7月	第40回世界遺産委員会において、国立西洋美術館を構成資産に含む「ル・コルビュジエの建築作品―近代建築運動への顕著な貢献―」(7カ国共同推薦)を世界遺産一覧表へ「記載」とする決議が採択された。
2022(令和4)年	4月	企画展示館の空調及び防水工事(前庭整備を含む)が竣工、リニューアルオープンした。



組織

●組織図【令和5年11月1日現在】



●職員数【令和5年11月1日現在】

館長	総務課							学芸課						経営企画・ 広報渉外室	世界遺産担当室		合計
	課長	室長	係長	専門職員	係員	特定専門職員	計	課長	主任研究員	任期付研究員	特定研究員	特定専門職員	計	特定専門職員	主任研究員	特定専門職員	
1	1	1	3	1	4	1	11	1	11*	2	4	1	19	1	1	1	34

*内2名は国立美術館本部との併任

予算

(単位:千円)

収入	令和4年度	令和5年度	支出	令和4年度	令和5年度
運営費交付金	500,800	634,139	美術振興事業	501,466	568,315
自己収入	169,637	190,000	ナショナルコレクション 形成・継承事業	98,430	134,771
			ナショナルセンター事業	20,929	30,006
			一般管理費	49,612	91,047
計	670,437	824,139	計	670,437	824,139

※当初予算額。人件費は除く。

展覧会

●展覧会の開催

当館では、創立当初からの松方コレクション(印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション)及び、毎年収集している中世から20世紀半ばまでの西洋美術に関する作品を収蔵し、これらの絵画、素描、版画、写本リーフ、彫刻や工芸から150~200点の作品を選び、常設展として西洋美術の流れを概観できるような展示を行っています。

また、欧米等の美術館からの借用作品による企画展を、新聞社等との共催展として年3回程度開催しています。

展覧会 令和4年度実績

種別	展覧会名	開催期間	開催日数(日)	共催者	総入場者数(人)	1日平均(人)
常設展※1	中世から20世紀にかけての西洋美術	令和4年4月8日 ~ 令和5年3月31日	251	—	462,463	1,842
小企画展 (常設展と併設)	新収蔵版画コレクション展	令和4年4月9日 ~ 令和4年5月22日	39	—	—	—
	調和にむかって ル・コルビュジエ芸術の第二次マシン・エイジー大成建設コレクションより	令和4年4月9日 ~ 令和5年9月19日	139	—	—	—
	西洋版画を視る—エッチング:線を極める、線を超える	令和4年6月4日 ~ 令和4年9月11日	87	—	—	—
	版画で「観る」演劇 フランス・ロマン主義が描いたシェイクスピアとゲーテ	令和4年10月8日 ~ 令和5年1月22日	90	—	—	—
	橋本コレクション展—指輪よりどりみどり	令和5年3月18日 ~ 令和5年3月31日 (令和5年3月18日 ~ 令和5年6月11日)	13 (76)	—	—	—
企画展	国立西洋美術館リニューアルオープン記念 自然と人のダイアログ フリードリヒ、モネ、ゴッホからリヒターまで	令和4年6月4日 ~ 令和4年9月11日	87	※2	221,847	2,550
	ピカソとその時代 ベルリン国立ベルクグリユン美術館展	令和4年10月8日 ~ 令和5年1月22日	90	※3	228,580	2,540
	憧憬の地 ブルターニュ —モネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷	令和5年3月18日 ~ 令和5年3月31日 (令和5年3月18日 ~ 令和5年6月11日)	13 (76)	※4	26,157 (163,253)	2,012 (2,148)

()内は全期間

※1 常設展の随所に所蔵品による小規模なコーナー展示を組み込み、とりわけテーマ性の高いものを「コレクション・イン・フォーカス(Collection in FOCUS)」と名付けて、解説パネルとともに展示

※2 読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

※3 ベルリン国立ベルクグリユン美術館、東京新聞、TBS、共同通信社

※4 TBS

展覧会計画 令和5年度

(令和5年11月1日現在)

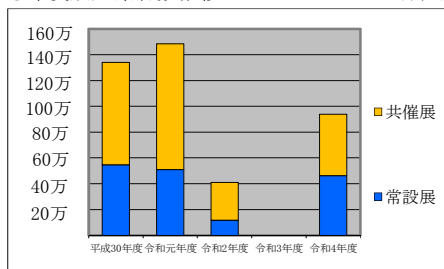
種別	展覧会名	開催期間	開催日数(日)	共催者
常設展	中世から20世紀にかけての西洋美術	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日	278	—
小企画展 (常設展と併設)	美術館の悪ものたち	令和5年6月27日 ~ 令和5年9月3日	61	—
	もうひとつの19世紀 —ブーグロー、ミレイとアカデミーの画家たち	令和5年9月19日 ~ 令和6年2月12日	122	—
企画展	スペインのイメージ: 版画を通じて写し伝わるすがた	令和5年7月4日 ~ 令和5年9月3日	55	朝日新聞社
	パリ ポンピドゥーセンター キュビズム展—美の革命 ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ	令和5年10月3日 ~ 令和6年1月28日	98	ポンピドゥーセンター、日本経済新聞社、テレビ東京、BSテレビ東京、TBS、BS-TBS、TBSグロウディア
	ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか? —国立西洋美術館65年目の自問 現代美術家たちへの問いかけ	令和6年3月12日 ~ 令和6年3月31日 (令和6年3月12日 ~ 令和6年5月12日)	19 (55)	—

()内は全期間

入館者数

●年度別入館者数推移

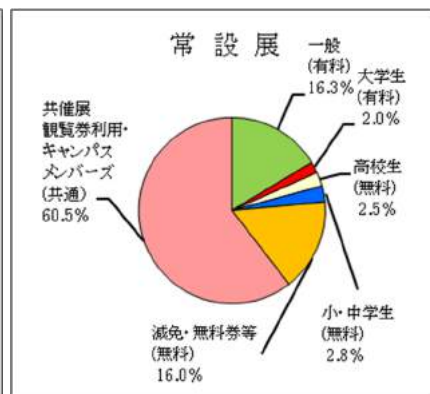
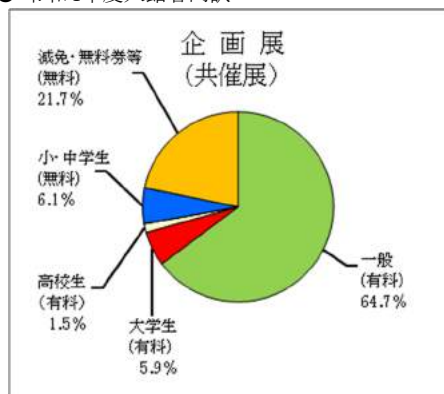
(単位:人)



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
常設展	546,836	507,994	117,718	0	462,463
共催展	792,329	977,285	293,418	0	476,584
合計	1,339,165	1,485,279	411,136	0	939,047

※令和3年度は工事のため休館

●令和4年度入館者内訳



所蔵美術作品等

●作品の収集と保管

中世から20世紀に至る西洋絵画及び西洋版画等の収集を行っています。これらに加えて、旧松方コレクションの収集を続けています。

所蔵作品

(令和5年3月31日現在)

種類	区分	設立時の松方コレクション	購入	寄贈	管理換	計	寄託	合計
絵画		196	219 (+5)	75 (+1)	7	497 (+6)	29 (+6)	526
素描		80	162	65 (+3)	1	308 (+3)	119 (+14)	427
版画		26	4,071 (+30)	245 (+1)	0	4,342 (+31)	8	4,350
彫刻		63	16	26	0	105	1	106
写真		0	0	0	0	0	104	104
工芸		0	5	818	0	823	1	824
書籍		0	61 (+4)	176 (+159)	0	237 (+163)	6	243
参考作品等		5	83 (-4)	34 (-159)	0	122 (-163)	2 (+1)	124
計		370	4,617 (+35)	1,439 (+5)	8	6,434 (+40)	270 (+21)	6,704

()は令和4年度増減数で内数

●資料の収集

国立西洋美術館は1959(昭和34)年の設立以来、美術作品調査や展覧会企画等の事業活動を進めるため、半世紀以上にわたり研究資料を収集してきました。この結果として蓄積されてきた豊富な学術資源を外部の美術館学芸員や研究者に公開し、わが国における西洋美術史研究および美術館活動の振興に資するため、2002(平成14)年3月15日、国立西洋美術館研究資料センターを開設しました。

当研究資料センターは、中世末期から20世紀前半までの西洋美術を対象範囲として、資料の収集・整理・公開に取り組んでいます。所蔵点数は、欧米各国美術館の所蔵作品目録や展覧会カタログ、作家のカタログ・レゾネ(全作品集)、美術史家の記念論文集などを中心に、和洋図書54,000冊、逐次刊行物3,000誌(うち約350誌が継続中)、マイクロ資料35件を数えます。このほか近年は「JSTOR」「Art Sales Catalogues Online」などのオンライン学術情報資源も積極的に導入しています。また2014(平成26)年6月からは世界の美術図書館の共同事業である「アート・ディスカバリー・グループ目録(Art Discovery Group Catalogue)」参加を通じて、美術史分野の研究基盤整備への貢献を図っています。

所蔵資料

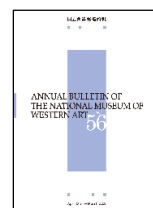
(令和5年3月31日現在)

区分	種類	数量	
図書	和書	14,357 冊	
	洋書	39,594 冊	
	計	53,951 冊	
逐次刊行物	和逐次刊行物	33,469 冊	
	洋逐次刊行物	38,937 冊	
	計	72,406 冊	
その他	ファイル資料	1,058 件	
	マイクロ資料	フィッシュ	19 タイトル 71,090 枚
		フィルム	16 タイトル 357 本

図書、逐次刊行物の数量は電子ブック、電子ジャーナルを含む

●調査研究

当館では、所蔵作品及び各展覧会に関する調査研究を恒常的に行っています。また、各研究員がそれぞれ専攻する分野の課題についても調査研究を行っています。(詳細については各展覧会図録、『国立西洋美術館報』及び『国立西洋美術館研究紀要』を参照。『国立西洋美術館報』及び『国立西洋美術館研究紀要』は、「国立西洋美術館出版物リポジトリ」を通じてダウンロード可能です。)



《国立西洋美術館報》《国立西洋美術館研究紀要》

教育普及事業等

●教育普及各種プログラム

当館では、所蔵作品による常設展を中心に、学校、一般来場者、家族など多くの利用者に向けて、多様なプログラムを毎年実施しています。企画展に関連して講演会、スライドトークなども定期的に行っています。

事業名	タイトル等	概要
常設展関連プログラム	美術トーク	第1・第3・第5土曜日・日曜日、および不定期の金曜日夜間開館時にボランティアスタッフが所蔵作品を数点選び解説。
	建築ツアー	毎週水曜日と第1・第3・第5日曜日にル・コルビュジエ設計の世界遺産に登録された本館建物や前庭を巡り、ボランティアスタッフが解説。
	美術館でクリスマス	クリスマス・シーズンに行うプログラム。クリスマス・キャロル・コンサートや各種ギャラリーツアー（一般、視覚障害者・聴覚障害者の方対象）などを実施。
	ふかぼりCollection in FOCUS	常設展内のコーナー展示「Collection in FOCUS」に連動した少人数制プログラム。
ファミリープログラム	どようびじゅつ	4・5・10・11月の第2・第4土曜日に行う常設展示作品の鑑賞と創作等の体験がセットになったプログラム。6～9歳と保護者を対象。ボランティアスタッフと職員が実施。
学校関連プログラム	スクール・ギャラリートーク	小・中・高校生、特別支援学校に対してボランティアスタッフ/職員が行う予約制の所蔵作品鑑賞プログラム。
	オリエンテーション	大人数の団体を対象に、講堂で常設展又は企画展について解説を行う予約制のプログラム。
	職場訪問	修学旅行や総合学習の一環でグループで来館する生徒を対象に、美術館や学芸員の仕事に対する質問に対応。
	先生のための鑑賞プログラム	小・中・高校の教員を対象とした観覧日。各企画展で実施。
企画展関連プログラム	講演会	企画展のテーマにあわせた講演会。講堂、もしくはオンラインにて実施。
	スライドトーク	夜間開館時に講堂でスライドにより展覧会の見どころを解説。
ボランティアによる活動	研修を受けたボランティアスタッフにより、ファミリープログラムやスクール・ギャラリートーク、美術トーク、建築ツアーを中心とした活動を実施。	
インターンシップ	大学院生以上を対象として、当館職員のもと、所蔵作品の調査・展覧会や教育プログラムの企画補助など、各々が希望する専門分野に分かれて行う実務研修。	
他組織との連携	小・中学校教員が組織する研究団体、美術館などと協力・連携して行う授業・研修・プログラムなど。	

●出版物等

出版活動として、研究紀要、館報、展覧会図録のほか、国立西洋美術館ニュース『ゼフュロス』、所蔵品図録等を刊行しています。また、企画展の音声ガイドの貸出も行っています。

事業名	タイトル等	概要
出版物	国立西洋美術館ニュース『ゼフュロス』	展覧会や教育プログラムなどの活動を紹介する広報誌。
	国立西洋美術館ブリーフガイド (日・英・中・韓)	観覧者向けの当館利用案内パンフレット。
	世界遺産パンフレット (日・英・中・韓)	ル・コルビュジエが設計し、世界遺産に登録された本館建築の特徴や、同時に登録された他の資産を紹介したパンフレット。
	国立西洋美術館点字・触知図ガイドブック	視覚に障害のある方に向けた当館のガイドブック。点字、触知図、拡大文字を使用。希望される方にインフォメーションで配布。
	展示作品リスト (日・英・中・韓)	企画展の無償配布の作品リスト。
	ジュニア・パスポート	企画展の観覧券を兼ねた小中学生対象の展覧会ガイド。
	国立西洋美術館アクティビティブック 美術館を楽しむ100のこと	美術館の様々な楽しみ方を、実際に書き込みながら体験できる小冊子。希望される学校団体来訪時に配布。
音声ガイド	常設展(所蔵作品展) 音声ガイド (日・英・中・韓)	所蔵作品の中から約30点を選び、作家や作品の特徴などを解説(有料・300円)。 ※休止中
	建築のみどころを解説した音声ガイド (日・英・中・韓)	本館建築のうち、ル・コルビュジエの特徴が表れた箇所を解説(有料・300円)。 ※休止中
	企画展音声ガイド (日・英・中・韓)	展示作品や作家の特徴などを解説(有料)。
本館デジタルコンテンツ	空間再現ディスプレイで見える3Dモデル	裸眼で見られるディスプレイ上で3Dモデルが鑑賞できるコンテンツ
	スマートフォン用コンテンツ (日・英・中・韓)	館内の二次元バーコードを読み込み、主に非公開ゾーンを歩くように体験できるコンテンツ

施設

●土地

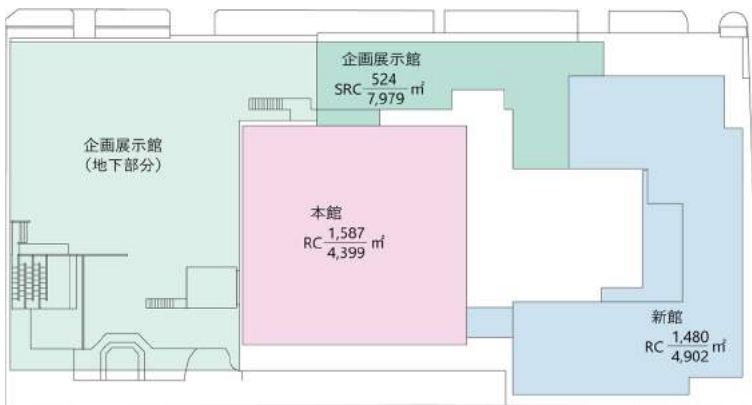
(令和5年11月1日現在)

区分	面積	摘要
所有地	2,208 m ²	1967(昭和42)、1968(昭和43)年度に寛永寺所有地を購入 東京都より有償借用
借用地	7,080 m ²	
計	9,288 m ²	

●建物

(令和5年11月1日現在)

区分	構造・階数	竣工	面積		摘要
			建築	延床	
本館	RC・地上3階・地下1階	1959(昭和34).2.28	1,587 m ²	4,399 m ²	展示室 1,533 m ²
新館	RC・地上2階・地下2階	1979(昭和54).5.31	1,480 m ²	4,902 m ²	展示室 1,525 m ² 収蔵庫 676 m ²
渡り廊下	RC・地上2階	1979(昭和54).5.31	45 m ²	89 m ²	
企画展示館	SRC・地上2階・地下4階	1997(平9).12.25	524 m ²	7,979 m ²	展示室 1,362 m ² 収蔵庫 421 m ²
計			3,636 m ²	17,369 m ²	展示室 4,420 m ² 収蔵庫 1,097 m ²



当館本館は、20世紀を代表する建築家のひとりであるフランスの建築家ル・コルビュジエ(1887-1965)が設計し、彼のアトリエで学んだ坂倉準三、前川國男、吉阪隆正の協力により、1959(昭和34)年3月に竣工した歴史的建造物です。

重要文化財(建造物)である本館を含む敷地全体は2016(平成28)年「ル・コルビュジエの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献－」の構成資産のひとつとして、世界遺産へ登録されました。



1959(昭和34)年



2022(令和4)年

国立西洋美術館案内

- 開館時間
常設展 午前9時30分～午後5時30分
金曜日・土曜日：午前9時30分～午後8時
企画展 午前9時30分～午後5時30分
金曜日・土曜日：午前9時30分～午後8時
※ 各企画展により、開館時間を変更することがあります。
※ 入場は閉館の30分前までです。
※ 臨時に開館時間を変更することがあります。
- 常設ミュージアムショップ 常設展の開館時間に準じます。
営業時間 ※ オンラインショップ「国立西洋美術館ショップ」<https://www.nmwatokyo-shop.org/>
- CAFÉ すいれん 午前10時～午後5時30分（ラストオーダー 食事：午後4時45分 喫茶：午後5時15分）
営業時間 金曜日・土曜日：午前10時～午後8時まで（ラストオーダー 食事：午後7時10分 喫茶：午後7時30分）
※ 臨時に休業または開店・閉店時間を変更することがあります。
- 休館日 毎週月曜日 ただし、月曜日が祝日又は祝日の振替休日となる場合は開館し、翌平日が休館
※ 年末年始（2023（令和5）年12月28日～2024（令和6）年1月1日）
※ その他、臨時に開館・休館することがあります。
- 無料観覧日 Kawasaki Free Sunday（原則毎月第2日曜日）
国際博物館の日（5月18日）、文化の日（11月3日）
※ 常設展のみ無料となります。
- 常設展観覧料 一般/500（400）円 大学生/250（200）円（ ）内は20名以上の団体料金
※ 高校生以下及び18歳未満、65歳以上の方は無料です。
※ 障害者手帳をお持ちの方（付添者は原則1名まで）は無料です。
※ 企画展（共催展、特別展）の観覧料は展覧会ごとに別に定めます。
※ 国立美術館キャンパスメンバーズは常設展を無料とし、企画展（共催展、特別展）は団体料金を適用します。
※ 常設展の団体入場には国立西洋美術館ホームページより事前の予約が必要となります。
- 所在地 〒110-0007
東京都台東区上野公園7番7号
- 交通案内 JR上野駅下車（公園口）徒歩1分
京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分
東京メトロ銀座線上野駅下車 徒歩8分
東京メトロ日比谷線上野駅下車 徒歩8分
- お問い合わせ ハローダイヤル 050（5541）8600
FAX 03（3828）5135
- ホームページ <https://www.nmwa.go.jp>

